

三沢市地域公共交通会議 会議録

会議名称	平成30年度 第2回会議																
開催日時	平成30年8月1日（水）13時30分～15時30分																
場 所	三沢市総合社会福祉センター ホール1																
出席者	会長	小渡 章好	副会長	宮古 直志	監事	土井淳(代理)											
	監事	沼田 巍	委員	橘 イト	委員	伏見 憲子											
	委員	木村 高広	委員	中谷昌弘(代理)	委員	佐藤 美仁											
	委員	山村 雅文	委員	山田和男(代理)	委員	山本 優											
	委員	高橋 常幸	オブザーバー	坂 竜也													
	事務局	三沢市：村井参事兼課長、根岸課長補佐、和田係長、富田主査、中村主査 株式会社ケー・シー・エス：新宮、増子															
会議次第	1 開 会 2 会長挨拶 3 議 事 (1) 案件1 「北部・東部地区の路線再編等について」 (2) 報告1 「町内会長会議における要望事項について」 (3) 報告2 「視聴覚障害者によるバス乗降訓練の協力について」 (4) 報告3 「あすチャレ！アカデミーの開催について」 4 閉 会																
会議の経過及び審議結果（概要）																	
1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 案件1 「北部・東部地区の路線再編等について」 <主な意見> (小渡会長) ・変更内容の説明について、初めて説明を受ける委員の方々はすんなり理解できただろうか。 ・小間木小学校前から乗って三川目小学校前や二中前まで行く人はいるのか。 (佐藤委員) ・大津前平線の利用状況について、おおよそであるが100円区間内の利用や市街地から病院までの利用が多い。その他、東部地域から市街地への利用もみられる。																	

(小渡会長)

- ・平成30年10月1日に路線の再編が行われるが、運賃の変更はまだ先になるということだ。
- ・初めて説明を受ける委員の方々には、再編内容の検討項目が細かいように感じられるかもしれないが、生活路線ということもあり住民に対する影響も大きいことから、細かく丁寧に検討を行ってきている。
- ・路線再編に関する住民への周知を行うとのことだが、いつ実施するのか。

(事務局)

- ・平成30年9月1日に配布される市報にて周知を行うことを予定している。
- ・その他、例年9月に開催される中央公園まつりにおいても、十和田観光電鉄のバスなども配置する予定であるため、それに合わせてポケットティッシュに再編に関するチラシを入れて配り、周知をする予定である。

(小渡会長)

- ・中央公園まつりにおけるバス関連の催しは4年程度続けられており、住民にも馴染みが深いものになってきていると感じる。
- ・なお、市報については記事などでも示すのか。

(事務局)

- ・市報の特集記事として掲載する予定である。
- ・特に運行が大きく変更となる北部・東部地域についてはA3判のパンフレットを作成・添付し、配布するなど、周知方法を工夫する。

(小渡会長)

- ・広報誌はページ数も多いのでなかなか見てもらいづらいような気もするので、パンフレットのような形で配るのはいいと思う。

(木村委員)

- ・質問というよりは確認になるが、今回の再編で駅シャトルバス線は廃止になるようだが、利用が少なくなった場合はまず減便して、さらに利用者から反対意見もなく利用が減ってから廃線となるような流れが多い。
- ・一方、駅前の整備も進められているが、この整備が完了したあとも、駅シャトル線が復活する見込みはないのか。

(事務局)

- ・駅シャトル線については、同様の区間を他路線が運行していることや、当該路線自体は利用者あまり多くない。
- ・駅シャトル線としては廃線ということになるが、三沢駅から市街地の区間の運行が無くなると

いうことではないため、ビードル線などに統廃合するイメージと思ってほしい。

(山本委員)

- ・100円区間についてだが、深谷から二中前までなど移動する経路によって料金に差があるようである。
- ・こういったことを踏まえて、運賃を距離制にすることはできないのか。

(事務局)

- ・ご指摘の通り、100円区間ではない地域から不公平感に関する意見はあげられている。
- ・昨年度の検討などを踏まえても、均一料金の方が利用者にとってはわかりやすい、ということは理解しているが、持続可能な路線としてバランスを取るために現状のような料金の設定になっている。
- ・大津前平線において、市立病院までの料金が380円の区間については、2枚きっぷの導入により往復500円とするなど、若干の緩和措置を施す。
- ・実際には路線全体の利用が少ない中であるため、今回の再編により利便性を高めることで、利用者を増やす努力を行っていきたい。

(伏見委員)

- ・北浜木崎野線の運行について、青森銀行前を経由し一方通行に入る区間を新たに運行するようであるが、この区間については道幅が狭いため、通学児童などに危険が及ばないか。

(事務局)

- ・ご指摘の通り、当該区間は夕方などに横断することも困難であり、冬場はアイスバーンなどで走行も危なくなるなどの懸念があった。
- ・そうしたことも踏まえて、十和田観光電鉄に相談しているが、実際にバス車両で走行していたとき、問題がないとのことであった。
- ・そのため、これがベストではないかもしれないが、現時点では有効な運行経路として設定した。

(佐藤委員)

- ・当該区間の一部は、現在もビードル西線が走行する経路になっており、問題は少ないのでないかということもあった。
- ・また、ドライバーの心理的に複数回右左折するよりも、直線で走行する方が、負担が少ないといった意見もあげられている。
- ・ただ、夕方などの通学時間帯については心配であるとの思いもあるため、今後運行を行った上で危険性があるようであれば、経路の変更なども検討していきたい。

(沼田委員)

- ・先日、お祭りのときに外国人からバスの時刻や行き先を尋ねられた。
- ・英語のみでいいと思うので、バス停、もしくは主要拠点だけでも多言語の案内をしてあげると

良いのではないか。

(事務局)

- ・新しく作成する公共交通ガイドにおいては、英語表記版も作成する予定である。
- ・現在の公共交通ガイド等は国際交流センターに設置しているが、使いづらいといった印象を受けるようである。
- ・バス停名は、地名を知らないと分かりづらいなどもあるため、そういった部分は新しく作成するバスマップでランドマークを示すなど、工夫しながら解消していきたい。

(小渡会長)

- ・三沢市は国際交流都市として、全国的に珍しい地域であると思う。バスマップなどを通じて自分が住む都市の特徴を住民が認識すること繋がるきっかけになると思うので、英語表記などについては積極的に取り組んでいってほしい。
- ・今回の再編について承認をとりたい。

(全員)

- ・路線再編に関することに対して異議なし。

(小渡会長)

- ・賛成ということで、案件1「北部・東部地区の路線再編等について」を承認とする。

(2) 報告1 「町内会長会議における要望事項について」

<主な意見>

(小渡会長)

- ・今回のような要望を全て切り捨てるという考えはない。しかし、全ての要望を聞くと収集がつかなくなると言うこともあるため、地域と行政両者の望ましいところへ着地させていくことが公共交通会議の役割であると考える。

(沼田委員)

- ・この団地は高齢者が多く、免許返納後の移動手段が無い人も多いものと思う。
- ・全ての便は難しいかもしれないが、一部の便だけでも運行してはどうか。

(事務局)

- ・高齢者の移動が困難な地域であるということは認識をしている。
- ・この対応については、地域の需要や費用対効果などの側面からも考える必要がある。
- ・本日の協議で方向性を決定するということではないが、この件については今後も皆様から助言をいただきたい。

(小渡会長)

- ・これから市全体で免許返納者は増えてくるものと思うので、こういった地域の要望は増えてくると考える。
- ・当該地域以外にも、今までにあげられなかった要望が出てくることも想定されるので、引き続き対応をお願いしたい。

(3) 報告2 「視聴覚障害者によるバス乗降訓練の協力について」

<主な意見>

(小渡会長)

- ・こういった機会を増やして、障害を持つ方が利用できるバスに近づけるのはとても大事なテーマであると思う。

(事務局)

- ・実施に至った経緯として、特定非営利活動法人である「ぴあ三沢」から直接要望があり、十和田観光電鉄にご協力いただきて実現したものになる。
- ・ぴあ三沢では、日々障がい者に対する歩行訓練などの取り組みを行っているところではあるが、視覚障害を持つ方は外出に対して消極的になる傾向にあるが、そうした中で障害者の方から自発的に『バスに乗ってみたい』という声があったとのことで、相談を受けたものである。
- ・他の福祉関係機関にも声かけをしたところ、楽晴会においても、取り組みを見てみたいということで参加いただいた。

(小渡会長)

- ・アイマスクなどをして障害を体験すると、視覚に障害があるということが、いかに大変であるかということがわかる。
- ・健常者にとっては小さなことであっても、障がいのある方には大きな助けになることもある。それができる三沢市民になってほしい。

(4) 報告3 「あすチャレ！アカデミーの開催について」

<主な意見>

(小渡会長)

- ・参加した委員の方から感想をいただきたい。

(沼田委員)

- ・これまで、実際に障がい者をサポートした経験があり、その際には自分で考え、できることをしたが、それが正解かは分からなかった。
- ・今回あすチャレに参加したこと、自分が行ったことが間違いではなかつたと思った。

- ・オリンピック、パラリンピックなどに限らず、障がいのある方を見かけたら積極的に手助けしていきたいと考えている。

(佐藤委員)

- ・当社からは乗務員も含めて参加した。目の不自由な方への応対については、正しい手順を踏めば体に触れることなども失礼に当たらないということ知ることができた。

(山田委員)

- ・講師の方の弁舌が爽やかで非常に良かった。

(山本委員)

- ・これまで視覚障がい者に声をかける機会がなかったが、今回受講したことをきっかけとして、そういった方を見掛けたら声をかけられたいと考えている。

(小渡会長)

- ・私も参加して非常に良かったと思った。
- ・周囲の人は基本的には見守りがちだが、積極的に声をかけてほしい。

4 閉会